

2013年 梅まつり俳句優秀作品

榎本 達 選

特選

健やかに生きてけふあり梅の花

多摩市

河田公枝

評 誠実に生きてきたであろう人生と凜とした梅の花が重なります。

又来たと梅に語りてそつと触る

府中市

春日怜子

評 この梅園が大好きで、お気に入り梅もあるのでしょうか。

たまゆらの香の誰に触れ未開紅

川崎市

藤原幸子

評 古今集の「色よりも香こそあはれとおもほゆれ誰が袖触れし宿の梅ども」を踏まえているかと考えられます。

口笛で鳥呼ぶ男梅の里

府中市

芝喜久子

評 梅園を梅の里に見立てて成功したように思われます。

防人の夫恋ふる碑に梅香る

世田谷区

小森葆子

評 夫を思いやった古の人に梅も讚美の香を送ります。

佳作

健脚の傘寿の母や梅日和

国分寺市

小泉陽子

この風とこの香に逢へて梅まつり

府中市

塩澤登美子

琴の音に梅香ほのかに流れけり

昭島市

西崎 弘

やはらかに華やぎかをる梅千余

昭島市

西崎 靖

梅の香に誘はれ歩く自由人

府中市

木内朋子

川風に香を磨かれて茶青梅

国分寺市

大平悦子

枝先に仲良く二輪白き梅

東久留米市

吉田恒雄

梅めでて歩む結婚記念の日

府中市

直木葉子

梅が香に遠き昔を憶ひけり

府中市

矢崎裕二

なかんづく強き香放つ野梅かな

船橋市

栗原 勝

(敬称略 新漢字・歴史的仮名遣い 順不同)